



創造的休暇…新聞を読もう

この期間に是非身につけてほしい習慣として、前回の読書に加えて新聞を読むことを勧めたいと思います。『新聞力』には新聞を読むことで基本情報量を増やし、精度の高い判断ができるようになることと書いてあります。小論文対策としてまず新聞を読めといわれるのは、小論文で問われる「社会問題への深い理解と自分の意見を論理的に構築する力」が培われるからです。そして、池上氏の記事にあるように、自分の人生や将来を考えるヒントにもなります。また、「若者Box席」の中学生のように「発言」（読者の投稿欄）を楽しみに読むという読み方や、自分の意見を投稿するという楽しみ方もあります。

新聞記事の特徴は3Cといわれているように、「CORRECT（正確）」に加え、非常に「CONCISE（簡潔）」で「CLEAR（明快）」、すなわち、わかりやすく、簡潔で読みやすい文章で書かれています。新聞記事がわかりやすいのは、記者が記事を書くときに必ず「5W1H」…When（日時など）・Where（場所など）・Who（人物など）・What（目的・行為など）・Why（原因・理由など）+ How（様子・手段・状態・方法など）…を頭に入れて書くためです。

まずは、2週間、新聞を読むこと、そして、できればスクラップノートを作ってみましょう。



今の大学生は新聞でニュースをざっと読む習慣がないので、急に「英国のEU離脱問題について説明してください」と言っても、深い話ができないのです。

しかし、こうした大学生たちも、新聞の切り抜きを2週間やるだけで、格段に中身の濃い話ができるようになります。

かつては日本のほとんどの世帯が新聞を取っていて、毎日の事件や出来事、社会の動きの情報を共有していました。… 中略 …

そして今、新聞を読まない人たちが圧倒的に増えてしまい、日常会話として政治、経済の深い話ができなくなってしまったのです。

物事の判断基準も変わってしまいました。基本情報量の多い人間が判断するのと、少ない人間が判断するのとでは、判断の精度にも大きな差が生まれます。

情報量が少ない人が判断するとどうなるのかというと、そのときの気分や個人の好き嫌いで判断するしかなくなります。大切なことを、そのときの気分や好き嫌いで判断するわけです。

今まさに日本ではそういう状況が進んでいるのです。

『新聞力』 斎藤孝 ちくまプリマー新書



新聞「人生」考えるきっかけ

…気になる新聞記事は切り抜くことがお勧めです。特に新聞記事を、「自分の人生」と関連づけることです。…高校生や大学生も、将来どんな職業に就きたいかわからないとき、新聞を見て「こんな仕事がある」と気になれば破いて残せばいい。…興味・関心がある記事をためることで、自分を客体化して見られる。「本当はこういうことがやりたい」と気づく。これが職業選択に役立ちます。

（『朝日新聞』2019.2.26 池上彰さんインタビュー）



「神戸新聞」2020.5.6

若者Box席

面白い「発言」

私は最近、新聞を読み始めました。新聞は難しいことが多く書かれているので今も好きではありません。ですが、まだ読み続けています。私が新聞を読む理由は、私の母が読みなさい、とずっと言っているところもあるのですが、大きな理由は「発言」を読むことが好きだからです。幅広い年代、地域の人が書かれているたぐさんの意見は、面白くためになります。日常生活では家族や学校の友達、先生たちとしか関わることのない私が、「発言」を読むことでたくさんの人と関わっている気分になります。だから好きです。私はこれからもずっと苦手な新聞を読むことを続けていきたいと思っています。みなさんの面白い「発言」を待っています。楽しませてくれて本当にありがとうございます。

石井 理子 13歳
(中学生 三田市)

スクラップノート作成例 (基本)

用意するもの

- ① A4 版ノート
- ② 新聞の切り抜き

左のページに切り取った新聞を貼る。
各新聞社のHPからプリントアウトしたものや、新聞のコピーも可。
記事が大きい場合は前面に貼ったり折りたたんだりしてもよい。

右のページ (記事が小さい場合は下の段でもOK) に

- ① 新聞名、日付
- ② SWIH→今回のように、インタビュー記事などSWIHにあてはまりにくい場合は無理に書かなくてもよい。また、要約に慣れてきたら省略してもかまわない。
- ③ 要約
- ④ 感想 を記入する。これを2週間続けてみる。

SWIH にあたる部分と、印象に残った部分を色分けして線を引く。

空白部分に、調べたことを書き足したり、関連すると思われる記事を貼ったりしてもよい。

医療技術学のうち《臨床検査系》では、まず基礎課程で、医学や薬学系に属する「病理学」「免疫学」「薬理学」「栄養学」などを学びます。専門課程では「臨床血液学」「臨床微生物学」「臨床化学」などで、病態を解明するための理論知識を修得するとともに、血液検査、免疫検査、遺伝子・染色体検査など、いろいろな検査の技法を学びます。

《医療技術系》では、放射能や工学技術についての知識をベースに、検査や診療における放射線の扱い方を、理論と実践を交えて学びます。《リハビリ系》では、人間の精神と身体の発達、生理的な作用などの医学的知識を身につけ、それぞれの患者や障害者に応じたリハビリの専門知識と技術を学びます。さらに、《医用工学》系では、電子工学や情報工学、基礎医学を学んだ上で、人工透析や人工心臓、障害者用補助ロボットなど医療電子機械の理論と機能を応用し、より精巧な機器の開発にあたります。

(「逆引き大学辞典」HPより)

「神戸新聞」2020.4.23
注目される臨床工学技士の仕事

- ・ When (日時など) ... /
- ・ Where (場所など) ... 医療現場、チーム医療
- ・ Who (人物など) ... 臨床工学技士
- ・ What (目的・行為など) ... 生命維持管理装置の操作・保守点検、心血管カテーテル、高気圧酸素医療など
- ・ Why (原因・理由など) ... 機器に精通したスペシャリストとしてチームを支えるため、患者の命を救うため
- + How (様子・手段・状態・方法など) ... /

- 医学と工学の両面を兼ね備えた専門医療職。日本独特の職種。
- 縁の下の無力持ち



【要約】
新型コロナウイルス感染による重篤患者の治療に人工心肺装置 ECMO が使用されることから、これらの医療機器を扱う「臨床工学技士」の名を聞くようになった。
臨床工学技士は、医療現場の「縁の下の力持ち」的な存在であり、その仕事は人工呼吸器、人工心肺装置などの生命維持管理装置の操作・保守点検を始め多岐にわたる。また、チーム医療において機器に精通したスペシャリストとしてチームを支える、現代医療に不可欠な存在である。このような存在は世界には類はなく、日本独自の存在といえる。

【感想】
機械が好きなので工学部に進むか、直接人の役に立ちたいので看護医療系に進むかで悩んでいた。今回、日本にしかない臨床工学技士の仕事を知って、とても興味がわいた。
医療機器の製作に携わる工学系か、臨床工学技士か、どちらが自分に向いているかじっくりと調べたい。


- ◎ 調べること
- ① 臨床工学技士の資格がとれる大学、専門学校をピックアップ
 - ・ それぞれの大学で学べる内容
 - ・ 大学のレベル、受験科目
- ② 医療機器に関わる研究をしている工学部のある大学
 - ・ それぞれの大学で学べる内容
 - ・ 大学のレベル、受験科目

スクラップノート作成例 (応用) →色々な使い方を工夫してみましょう。

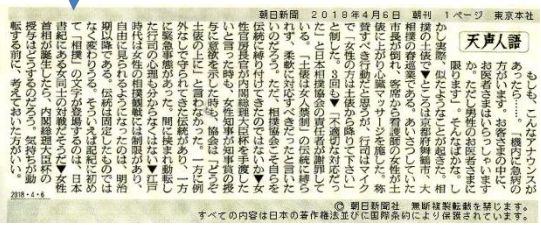
① 現代の社会問題全般について知りたい人、速読要約の練習をしたい人 → 社説の切り抜き。(社説は今話題になっている様々な問題を取り上げています。社説を読むのが難しい場合は、コラムで時事問題を扱っている場合もあるのでそれを参考にしてもいいでしょう。)

 <p>社説 2020.3.2 【要約】 【感想】</p> <p>【調べたいこと】など</p> <p>小論文を書くために</p>	 <p>社説 2020.3.8 【要約】 【感想】</p> <p>【調べたいこと】など</p>
---	---

② 一つの問題について深く知りたい人 → 特集の切り抜き。(新聞では、曜日毎に「健康」「教育」「経済」などの特集を組んだり、一定期間ある社会問題の特集を組んだりしますので、継続してスクラップしていけば、その問題についての大体の知識を得ることができます。)

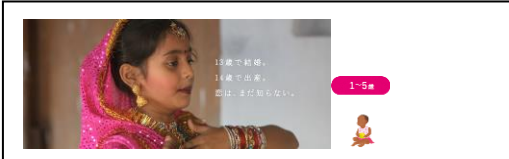
 <p>広島・長崎の記憶 Messages from Hibakusha 被害者からのメッセージ</p> <p>一生語り続ける決意 カナダ サロー節子さん (83) (2015年1月7日 朝刊)</p> <p>カナダ在住のサロー節子さん(83)は、ウィーンで先月開かれた国際会議をはじめ、世界に向けて英語で被爆体験を証言してきた。心ない非難を浴びたこともあったが、70年前の体験を伝え続けようという思いは揺るがない。原点を聞いた。 サローさんは1932年、広島市荒神町(現・南区)に生まれた。7人きょうだいの末っ子。兄や姉とは年が離れ、父母と3人暮らしだった。44年に広島女学院高等女学部に入學したが、当時は配給に限られ、米粒を数えられるほど薄いかゆなど、惨めな食生活が記憶にある。45年8月6日、爆心地から約1.8キロ離れた学徒動員先の第2総軍司令部(現・東区)にいた。同級生30人ほどと英語のラジオを聞いて、暗号を解読する手伝いをしていた。「こんな大事な仕事を女学生にさせていたんだから、どれだけ戦況が絶望的だったかわかる」と振り返る。</p> <p>朝日新聞 HP より</p>	<p>同じシリーズのものを貼り付けていく</p> <p>小論文を書くために</p> <p>進路を考えるために</p>
---	--

③ 異なる考え、視点を知りたい人 → 同じ問題に対する異なる意見、視点の記事の切り抜き(上記特集では、同じ問題に対する様々な考え方を紹介するケースがあります。また、読者の声の意見も参考になります。)

<p>【ジェンダー】</p> <p>女性が土俵に上がれない</p> <p>×</p> <p>↓</p>  <p>小論文を書くために</p>	<p>女人禁制で相撲協会が指針「土俵上がらぬ、受け継がれ」</p> <p>大相撲の「女人禁制」について日本相撲協会は理事会を開いた28日、八角理事長(元横綱北勝海)の談話を発表する形で協会の考え方を表明した。それによると、協会側は過去に議論が起こった際、「相撲は神事が起源」「大相撲の伝統文化を守りたい」「大相撲の土俵は男が上がる神聖な戦いの場、鍛錬の場」の三つを理由に挙げてきたという。その中で「神事という言葉は神道を思い起こさせ、『女性を不浄とみていた神道の昔の考え方が根拠』と語られるが、これは誤解。大相撲の神事は農作物の豊作を願い感謝するといった素朴な庶民信仰で習俗に近い。歴代の理事長や理事が女性差別を一貫して強く否定してきた」と説明した。また、今回強く打ち出したのが「土俵は神聖な戦い、鍛錬の場」との考え。「土俵は男が必死で戦う場であるという約束事は力士たちにとっては当たり前のこと。結果として、土俵は男だけの世界であり、女性が土俵に上がることはないという習わしが受け継がれてきたと思う」という。「関取の大いちょうと締め込み、部屋制度、土俵は男の戦いの場という約束事も江戸以来の伝統。強さを追求するにはこれらの伝統が欠かせないと、先人から教え込まれた」と記している</p> <p>朝日新聞 2018.4.28</p>
--	--

④ 雑誌の切り抜き(新聞に限らず、興味ある記事はスクラップしておこう。)

⑤ 読書好きな人 → 書評とその本を実際に読んだ感想。

<p>世界の子供を守る...カンボジアで「子供が売られる」問題が改善 次はインドでも同様の課題に、2020年を目標として取り組む 村田 早耶香さん (37歳) むらた・さやか NPO法人かものはしプロジェクト 共同代表</p> <p>カンボジアで16年間にわたり、子供が売春窟に売られる問題の解決に向けて取り組んできたNPO法人かものはしプロジェクト。この組織を大学生のときに仲間と立ち上げた村田さんは、現地で困難な状況に直面しても「子供が売られてはいけない」という信念を貫いた。2018年4月からは、この問題がより深刻なインドに経営資源を集中させて、被害女性の社会復帰支援や、新法成立のために活動する。村田さんが伝える思いに賛同するサポーター会員は、6995人(18年3月末時点)に。</p> <p>(日経 Woman 2019.12月号) 自分もこんな風に人の役に立つ仕事がしたい</p> <p>【調べること】 総人口の割合、途上国の女子が置かれている状況。解決法は、</p>  <p>祝福されない成長。 家計の負担になるという理由で十分な食事を与えられない。</p> <p>(かもはしプロジェクトHPより)</p> <p>進路を考えるために</p>	<p>神戸の高校舞台上に 描いたミステリー</p> <p>出版メモ</p> <p>神戸新聞 2020.3.10</p> <p>(2020.4.16~17) ← 読書した日</p> <p>【感想】</p>
--	---